

「発言しやすい会議」マニュアル①

株式会社ひとまち

<http://wbmf.info>

効率的、効果的な会議の進め方として「ファシリテーション」が注目されています。弊社の提案するホワイトボード・ミーティング®は、進行役をファシリテーター、参加者をサイドワーカーと定めて、ホワイトボードに意見を可視化しながら進める会議手法です。

また、ホワイトボード・ミーティング®以外にも、参加者が発言しやすい会議の方法はたくさんあります。ちょっとしたアイデアや工夫で「発言しやすい会議」へと変革しましょう。

●こんな現場にオススメです

- 1 発言を求めても、シーンとして意見が出ない
- 2 お金と時間をかける割に、効果が低い
- 3 次期リーダーを育成したい

（1）まずは簡単な変革にチャレンジ

参加のハードルを下げる

大勢の前で発言するのは、誰しも勇気が必要です。一般的に、会議参加者の概ね2割は、緊張せずに話せますが、残り8割は発言しにくい立場にあります。しかし、会議にペアコミュニケーションやグループでの話しあいを活用するとメンバー全員の参加のハードルが下がります。

会議の冒頭や終わりにペア・コミュニケーションを導入し、進行の1部を4～5人のグループにして、参加のハードルを下げ発言しやすい環境を作ります。グループごとに話しあうテーマを設定し、記録係は話の内容を書き留め、終わりに発表すると全体共有ができます。

（2）既存の会議手法を活用する

1 みんなでリラックスして対話するワールドカフェ

Juanita Brown（アニータ・ブラウン）氏と David Isaacs（デイビッド・アイザックス）氏によって、1995年に開発・提唱されたワールドカフェは国内外で用いられる創造性に富んだダイアログ（対話）を可能にする会議の手法です。

まるでカフェにいるようなリラックスした空間で、グループのテーブルに模造紙を広げ、参加者がマーカーで意見を書きます。ルールは、メンバーは意見を否定しないこと。グループを交代すると、他の意見も知れて全体共有が進みます。

参考文献「ワールドカフェをやろう！」（香取一昭 大川恒・日本経済新聞出版社）

2 ホワイトボード・ミーティング®で合意形成や課題解決を進める

ちよんせいこ（株式会社ひとまち）が2003年に開発したホワイトボード・ミーティング®は、ホワイトボードに意見を可視化しながら進める会議の手法です。発散（黒）→収束（赤）→活用（青）で話しあいのプロセスを作ります。ファシリテーターとサイドワーカーは、お互いに好意的な関心の態度を向けながら、質問の技術で情報共有を深めます。お互いに意見を承認しあいながら進めるので、続けているうちにチームワークが良くなります。困難な課題も6つの会議フレームを活用して、解決に向けた具体的な行動や結論が決まるのが特徴です。

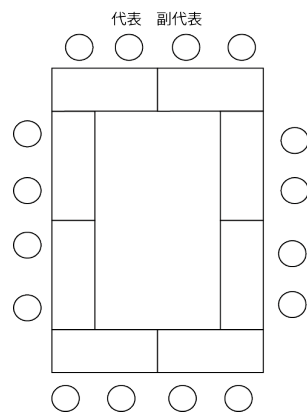
参考文献「ホワイトボード・ミーティング®検定試験公式テキスト」（株式会社ひとまち）

(3) プログラムデザインを工夫する

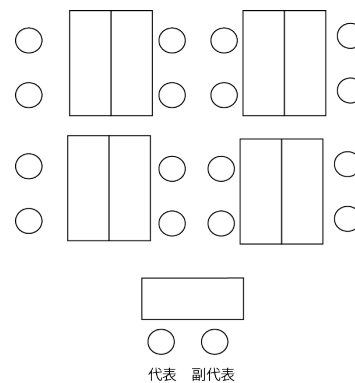
例えば、すぐにできる工夫として、2時間の会議を以下のように進めます。

①10分	代表挨拶、会議のゴール確認、ペア・コミュニケーション	(□の字型)
②10分	報告事項と質疑応答	(□の字型)
③40分	グループに分かれての話しあい1	(グループ型)
④40分	グループに分かれての話しあい2	(グループ型)
⑤10分	全体共有	(グループ型)
⑥10分	ペア・コミュニケーションで振り返りと全体まとめ	(□の字型)

※グループでの話しあいは1回だけでもOK



□の字型



グループ型

- ※ 1 ペア・コミュニケーションで会議のチェックインとチェックアウトをして、メンバーの参加度を高めます。
- ※ 2 グループで話しあうテーマを決めて取り組みます。同じテーマでも良いし、グループごとにテーマを変えてもかまいません。40分の進め方も工夫します。

<リーダーの心得>

- 1 「発言しなさい」の言葉の代わりに、発言しやすい環境を作ります。
- 2 ペアやグループでコミュニケーション量を増やし、参加度が高まる進行を心がけます。
- 3 面前で「責める、怒る」はミーティングハラスメントです。課題解決や人材育成は、責める、怒る以外の方法が効果的です。
- 4 グッドモデルを示しましょう。「こうすれば良い会議になる」体験やモデルの提示がメンバーの学びになります。
- 5 リーダーは、明確な方向性を示します。



社内ファシリテーターの養成・会議変革のご相談は「ひとまち」へ！

株式会社ひとまち 大阪市中央区大手前1丁目6番8号光養ビル702

TEL 06-6314-6779 <http://wbmf.info> info2@wbmf.info

代表取締役 ちょんせいこ (ホワイトボード・ミーティング®開発者)